

4月から分別のルールが変わります プラスチックを **もっと** 資源に

プラスチックはとても便利な素材です。一方で、ごみとなったプラスチックによる海洋汚染や焼却時のCO₂(二酸化炭素)発生など、深刻な問題も。区は、4月から資源として回収するプラスチックの範囲を広げ、持続可能な社会を目指します。

ごみ減量推進係
(松が丘1-6-3リサイクル展示室内)
☎(3228)5563 FAX(3228)5634

NEW

4月から
「資源プラスチック」の日に
一つの袋で出します

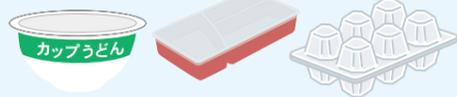
今まで同様に
回収するもの

4月から一緒に
回収するもの

容器包装プラスチック

左のマークが目印

●トレイ・容器・パック



●レジ袋、菓子袋



●ボトル



●発泡スチロール

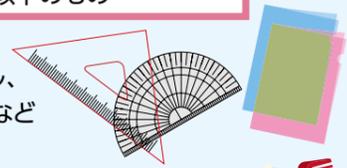


製品プラスチック

全てプラスチックでできている、
一辺30cm以下のもの

●文具類

定規、クリアファイル、
下敷き、結束バンドなど



●風呂・洗面用品

洗面器、歯ブラシ、
くしなど



●台所・調理用品

計量カップ、ボウル、
タッパー、お弁当箱など



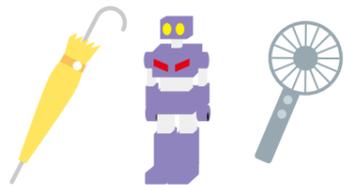
●おもちゃ・日用品

プラスチック製おもちゃ、
CDケースなど



× これらは「資源プラスチック」として出せません

●金属部分が多いもの、電池式のもの
ビニール傘、動くおもちゃ、
ハンディファンなど



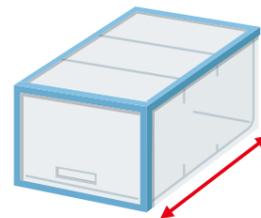
「陶器・ガラス・金属ごみ」へ

●少しでも金属や紙などが付いている
もの(左記以外)、汚れが落ちないもの
洗濯ばさみ、ボールペン、
油やマヨネーズのボトルなど



「燃やすごみ」へ

●一辺がおおむね30cm以上のもの



「粗大ごみ」へ

なぜプラスチックをリサイクルするの？

地球の環境を守るためです！

再生利用することで、廃棄するプラスチックが減り、ごみ処理で発生するCO₂を削減できます。ごみの減量は、埋め立て処分場を少しでも長く使うためにも、とても大切なことです。

また、プラスチックが海へ流出し、生態系を破壊する海洋汚染を防ぐことも期待できます。



清掃事務所職員

「減らす」ことが一番大切

普段の生活で使用するプラスチックを減らすことを一人ひとりが心掛けましょう。

《実践しよう》

- マイバッグやマイボトルを使う
- 詰め替え製品を選ぶ
- コンビニでスプーンやストローなどを断る

回収したプラスチックはこうやって生まれ変わります

回収したプラスチックは、選別保管施設で選別した後、リサイクル工場へ運ばれ、再生樹脂などのさまざまな物に生まれ変わります。

1 選別保管施設に運搬



区内で回収された資源プラスチックは、足立区にある施設に運搬されます

2 異物を取り除き、梱包



選別は手作業です

資源プラスチックとしてリサイクルできないものが混ざっていないか確認し、人の手で取り除きます。注射針などの危険物が入っていると、作業員がけがをすることも。分別ルールを守りましょう。



袋を二重にしないで

袋を破って選別するため、作業に時間が掛かります。

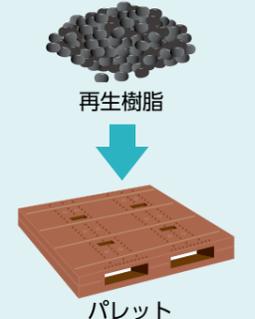


3 リサイクル工場で更に選別し、細かく砕く



出典：「日本容器包装リサイクル協会」

4 加工工場で製品に



みなさんのご協力をお願いします

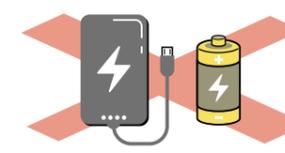
軽くすすぐ

汚れている物は資源にできません



電池を混ぜない

リチウム電池が混ざっていると、火災の原因になるのでとても危険です



昨年都内で発生した火災は34件!



次のページで、みなさんの疑問にお答えします

